

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月12日

1. 職名・氏名 准教授・普照早苗
 2. 学位 学位 修士（博士前期課程）、専門分野 看護学、
 授与機関 千葉大学大学院看護学研究科、授与年月 平成12年3月
 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

- a. 「在宅看護論」（1単位）2年次後期
- b. 「在宅看護演習」（2単位）3年次前期
- c. 「家族看護論」（1単位）2年次後期
- d. 「在宅看護実習」（2単位）3年次後期
- e. 「看護研究方法論」（1単位）3年次前期
- f. 「在宅看護発展セミナー」（1単位）4年次前期
- g. 「看護理論」大学院（2単位）1年次前期（※今年度開講なし）
- h. 「在宅看護学特論」大学院（4単位）（※今年度開講なし）
- i. 「在宅看護学演習」大学院（2単位）（※今年度開講なし）
- j. 「在宅看護学特別研究」大学院（10単位）（※今年度開講なし）

②内容・ねらい

- a. 在宅療養者とその家族を対象に、看護・医療・福祉・保健のあらゆる面から生活の質を高めるよう他職種と連携協働しながら看護の役割を果たす際の重要な視点を教授する。学生は本授業で初めて在宅看護に接するため、在宅看護の基本的事柄を中心に、看護の他分野との関連性も意識させることを例年ねらっている。学生の希望もあり、穴あき問題の個人ワーク教材を作成し基礎知識の定着を図る工夫を加えた。
- b. 「在宅看護論」で学んだ概説をもとに、在宅看護領域で必要となる知識や実践的ケア技術をグループワーク、演習等によって修得する。3年次後期から実施する「在宅看護実習」へつながる思考の基盤づくりをねらう内容としている。
- c. 3年次実習前という時期に、現時点における学生なりの「家族観」を考えさせる。今後看護実践に取り組むうえで「家族とは」という各自の家族観を醸成させるための第一歩を培う内容としている。演習課題では、家族が著者の本やメディアを学生に1つ選定させ、家族観について考えレポートする。また家族看護の国内外における理論・モデルの概要を説明し、DVD カルガリー家族アセスメントモデルの実際のカウンセリング場面映像を視聴した。
- d. 訪問看護事業所において1事例を受持ちとし、訪問看護師と同行訪問する中で実際の看護の展開を行う。訪問看護中の看護実践も教員や看護師と相談を重ね、ケアの一部に関して責任を持って実施する機会をもつ。学生が「自立的」に看護職と意見交換できるよう意識して促している。地域包括ケアシステム・地域共生社会を意識し、多職種連携の実際も学ぶ。新型コロナウイルス感染状況が悪化した時期、及び学生がコロナ感染をした場合も、学習が滞らないように代替教材（動画）を作成し、また ZOOM でオンラインカンファレンス（実習先と結び）実施した。
- e. オムニバス授業で展開（12～15回目の4回担当）。質的研究の特徴と倫理的配慮、研究方法と質的研究論文のクリティークとまとめ方・論文の書き方について、実際の公表論文を用いて説明した。学生の興味のある質的研究方法を選択させ、その論文を学生自身がクリティークする演習も実施した。
- f. 「在宅看護発展セミナー」は、地域で自立・自律的に実践する看護師の機能や役割について学ぶ。各自テーマを設定し文献等で学習、実際の在宅看護現場に出向き、ケアマネジメントの視点を含めた療養者とその家族のアセスメント、多職種との連携・協働のあり方を検討する。さらに実践現場の看護職や介護職とのディスカッションを通して、包括的在宅ケアの在り方を深める。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

- a. テキストを用いて基本的な事柄を説明しながら、自身訪問看護師であった経験も踏まえてイメージしやすいように具体例をまじえて解説した。また、DVD や画像など視聴覚教材も最新の物を現場の訪問看護ステーションの協力も得て作成、活用した。毎回の講義後、ミニレポートとして感想や疑問点を Google form で記載・提出させ、翌週の講義ではその内容について解説を加え、なるべく早期に疑問点を理解できるようにした。
- b.2 年次後期最終日に実施した「在宅看護論」の最終レポート課題を学生へ返却し、国家試験出題も意識しながら知識の確認を行なう時間を設けた。演習は、現在現場で実施している看護実践ケアに即して、既に学生が基礎看護学で習得している看護技術を「在宅で」行う際の工夫や注意事項など初めに解説してから、学生には実際に自宅で実践して「自ら新たに工夫した点、自宅で実施するからこそその配慮」などを考えさせる促しをした。
- c. 現在、家族のあり方が多様化していることから、最新情報・時事ニュースも交えて講義内で紹介、説明した（虐待問題、来年度こども家庭庁発足等）。並行して行う在宅看護論とも密接な関係のある内容であることから、在宅看護論で紹介した事例も想起させながら進行に努めた。また、次年度3年次の在宅看護実習における家族のかかわりにもつながることを意識させたレポート課題を提示し個人ワークを実施した。
- d. 実習中、学生が自立して学ぶことを意識させるため、教員・看護師間の打ち合わせを事前にしっかり行い、現地では学生が看護師と相談し、積極的な意見交換ができるようにオリエンテーションを緻密にしっかりと行った。実習終了時は、毎日学生に電話連絡でその日の状況を担当教員に報告させ、学習の進行状況の確認、また問題発生時には早期の対応に努めている。さらに、学生の理解力を図る指標として、口頭だけのやり取りだけではなく、記録に学習内容が反映させているかを把握するため、LMS、ZOOM 面談などを活用し実習記録の確認、電話やメールでの看護職からの評価の聴き取り等、確認を頻回に行った。コロナ陽性となる学生も数人いたことから、学内代替演習（シミュレーション教育、動画視聴、ZOOM カンファレンス）も取り入れ、学習が停滞しないように準備をした。
- e. 「看護の質的研究」については、近年、新たな事例研究方法やテキストマイニング分析手法のソフトの普及など、研究方法自体の研究が進んできている。これまでの基本的知識と合わせて、今後看護職となってからも活用できそうな最新の分析手法について講義内容に加えた。具体的には今年度から、KHCoder による分析についても講義内容を追加した。
- f. 「在宅看護発展セミナー」は、4年生希望者が2名参加した。本セミナーでは、将来、在宅看護分野で就業を希望する学生に対して、これまでの基本的な学習をもとに、現状現場で実践されている最新情報や課題を捉え、現地看護職・学生・教員が意見交換を実施した。

【ゲストスピーカー1人（小規模多機能型居宅介護事業所・看護師）】

(2)その他の教育活動

- ①福井県立看護専門学校非常勤講師「基礎看護学方法論Ⅶ 看護と研究」（質的研究 2 コマ担当、2022～現在）
- ②「未来協働プラットフォームふくい推進事業（福井版 PBL）」：参加学生4年生1名に対して福井市内の訪問看護ステーション現場へ出向き、現地看護職及び新卒で訪問看護師となった本学の卒業生との交流会開催。合わせて、将来の訪問看護就職説明会を訪問看護事業所と共同して実施した。4年生に対してのみでなく、同事業所に今年度新卒訪問看護師として就職した卒業生1名について、現地訪問看護ステーション管理者・教育担当者と教員が協力しながら、新人教育を実施継続している。（2020～現在）

【協力施設：光陽訪問看護ステーション、光陽生協病院（福井市）】

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等 日本在宅ケア学会第27回学術集会オンデマンド口演発表「在宅看護実習における学生の学びの内容と主観的評価に関する実態調査（第2報）」（共同研究：梅津千香子、普照早苗）	【1件】
⑤その他の公表実績 FAA 学ぶなら福井！応援事業（福井版 PBL 支援分）事業報告書「新卒訪問看護師養成に向けて訪問看護事業所による教育体制の共同整備」2022年3月（普照早苗、梅津千香子）	【1本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 未来協働プラットフォームふくい推進事業（福井版 PBL）：「新卒訪問看護師養成に向けて訪問看護事業所による教育体制の整備」（普照早苗、梅津千香子）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等 公益社団法人日本看護協会、日本看護学会学術集会・抄録選考委員（2021～現在）	

5. 地域・社会貢献活動

<p>①公益社団法人福井県看護協会 看護研究グループ指導・講師 (2015～現在)</p> <p>②公益社団法人日本看護協会 日本看護学会学術集会・抄録選考委員 (2021～現在)</p> <p>③福井県立大学公開講座「(小中高生向け「訪問看護師ってどんな人?」【在宅看護学シリーズ 2022】5～8月、オンデマンド研修講師)</p> <p>④探究学習に係るアドバイザー (県立勝山高校 1, 2 年生の総合探究授業に大学教員アドバイザーとして出席、2022年7月14日、8月23日。1月31日も出席予定)</p> <p>⑤多職種連携ハイブリッドシミュレータ SCENARIO 小研修会開催 (光陽生協病院職員 2 名 : 2022年11月24日)</p>

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
①ハラスメント委員会委員 (2020～現在)
②カリキュラム委員会委員 (実習科目統括 2021～現在)
③SIM・ICT 推進ワーキンググループリーダー (2020～現在)
④看護学科在宅看護領域責任者 (2014～現在)
(3)学内行事への参加
①オープンキャンパス領域紹介動画作成 (在宅看護領域 : 4 年生 2 名と足浴演習動画作成)
②出前講義「大学模擬授業体験」講師 (県立鯖江高校 2 年生向け講義、2022年10月21日)
(4)その他、自発的活動など
岐阜県立看護大学大学院看護学研究科・博士後期課程入学 (2022年4月1日～現在)